しての環境保全型農業直接支払交付金のほか、有機農業を実践するために必要な機械、施設等の導入費用を助成する「環境にやさしい農業推進事業」を活用して、生産農家への支援を行っている。

問 野栄総合支所前の県道沿いの農業振興地域の状況について伺う。

答 【産業振興課長】現在は、基幹水利施設ストックマネジメント事業の受益地であり、事業終了後8年を経過してから農振除外が可能となる。

椎名　勝英　議員（日本共産党）

問 令和3年産の生産者米価の大暴落は、米農家の現場のやる気をなくし、今後の米づくりへの希望を奪い取る事態になっている。今回の米価大暴落に伴う農家の現状と匝瑳市経済に対する影響について、市長は、どのような現状認識をしているか伺う。

答 【市長】今日のまん延防止等重点措置による飲食店等の営業時間短縮や外出の自粛など、長引くコロナ禍が本市の経済に大きな影響を与えている。また、それに伴う米の需要の減退等が米価の大幅な下落につながっていることから、生産者の皆様には、大変厳しい状況にあるものと認識している。

問 匝瑳市独自に、主食米の作付けに10アール当たり5千円の助成を求める。

答 【市長】そのような補助を出すことがいいのか。まずは、匝瑳市の誇るおいしいお米をしっかりとPRし、多く買ってもらうよう力を入れていきたい。

経済的な困窮

武田　光由　議員（公明党）

問 子どもたちがネグレクトで生理用品を買ってもらえないケースや父子家庭で父親に相談できないケースがあると聞く。そこで、小・中学校の女性トイレに生理用品を常備することを提案する。

答 【教育長】本市の小・中学校での配布については、現在、保健室において必要な児童生徒に対しその都度配布している。小学校4年生からの保健指導で周知しているが、女子児童生徒が1人で悩むことのないよう、より相談しやすい環境を整えていきたい。

病院

田村　明美　議員（日本共産党）

問 前市長の決断のもとで、市民病院建替の検討が始まっているが、経過を伺う。

答 【病院事務局長】病院事業運営委員会（菊地病院事業管理者、副市長、病院幹部職員、関係課長）で病床数、建設場所、財政計画、整備手法などと併せて検討中。

問 建設候補地について、街中や駅周辺を検討しないのか。

答 【病院事務局長】前市長から事業費抑制の指示があったため、取得費が高くなる駅周辺は検討過程の早い段階で除外し、そうさぬくもりの郷隣接地と市民病院隣接地を候補地として検討した。今後は、宮内市長の指示の下で検討を進めていきたい。

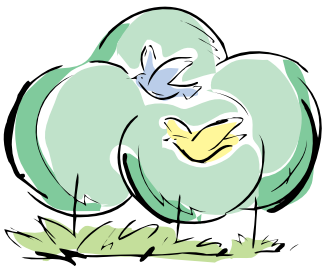
問 病床数は80床程、うち一般病床は60床程というが、感染症病棟は設けないのか。

答 【病院事務局長】全国の全病院が感染症対応が必要な状況だが、感染症病棟は作らず、一般病棟の一部を隔離し、動線も一般と分離できる設計で整備し対応したい。

問 宮内市長は、夜間も初期救急医療可能な市民病院にという展望を示されたが、実現方法は。

答 【市長】市民病院職員とも十分意見交換等を行って、改めてどのようにできるのか十分検討したい。

観光

林　明敏　議員（市民クラブ）

問 過疎債の活用で観光振興を考えていただきたい。